猪名川町立松尾台小学校　学校だより

千里同風



令和８(2026)年１０月９日号

～秋晴れの空に包まれて～

１０月に入り長雨の時期も過ぎて、ようやく秋晴れの日が続いていますね。朝晩の風も一気に寒く感じられますが、カラッとした空気と青空に包まれて心地いいです。学校のとなりの幼稚園跡地にある大きな金木犀☆（きんもくせい）の小花も咲き誇り、甘い香りが広がっています。過ごしやすい気候になると心なしか子どもたちの登校も早く感じられます。

～１０月は「いのちについて考える月」～

猪名川町では、１０月を「いのちを考える月間」と位置付けて、各学校園で様々な「いのち」について考える機会を作っていきます。本校でも各学年で「いのち」の捉え方や大切さについて学習していきます。ゲストをお招きして学習する学年もありますが､今月予定しているふれあい人権参観も､｢生きること｣の意味や尊さ、一人ひとりが自分を、そして他者をみつめながら考えたり、お互いを大切にしたりする学習に、保護者の皆さんにも参加していただきたいと思います。

この取り組みの一つとして、児童朝会で「いのちのおはなし（※)」という絵本の読み聞かせをしました。生涯をかけて人の命と向き合い医療活動や様々な啓発活動に取り組んでこられた医師・日野原重明さんが、４年生の子どもたちに「いのちについて」授業された様子が描かれているお話です。「いのちってなんでしょう？」「生きているということですね。」「生きているってどういうことだと思いますか？」「いのちはどこにあると思いますか？」の問いかけに、読み聞かせを聞いている子どもの中からも「心臓？」とつぶやく声も聞こえてきました。日野さんは「いのちは、きみたちのもっている時間だといえますよ。」と答えます。「心臓は大切ですが、いのちそのものではありません。いのちを動かすためのモーター。心臓が止まったら死んでしまい、つかえる時間もなくなるのです。いまきみたちは、どのようにでもつかえる時間をもっている。時間をつかうことは、いのちをつかうことです。」「これから生きていく時間。それが、きみたちのいのちなんですよ。」と。

挿絵を見せながらの私の読み聞かせがあまり上手ではなかったのですが、子どもたちは静かに耳を澄ませて聞き入ってくれました。

子どもたちの「いのち」や「自分のこれからの生活」にどこかの場面でつながっていけばうれしいです。

※「いのちのおはなし」（日野原重明・文　村上康成・絵　講談社）

～読み聞かせの習慣づくりに感謝～

いつも本校の読み聞かせの習慣には図書ボランティアのコロボックルさんのご協力は欠かせません。本当にありがとうございます。じつは毎回読み聞かせの時間の様子について感想をいただいています。ボランティアの皆さんにも子どもたちの聞き入る姿が、また次の読み聞かせの原動力になっているようでうれしいです。

一部紹介させていただきます。「みんなが知ってる身近なアマガエル。そして、みんなの生活の中でもありそうな小さな冒険のお話。とっても興味深く、静かに聞いてくれました。」「みんなが見て聞いてくれているのが伝わってきて、読むのが緊張しましたが、楽しかったです。ありがとうございました。」「みんな初めての絵本とのことで、表情豊かに聞いていました。時々聞こえてくる感想も、とても素直な気持ちで読む側も一緒に楽しめました。ありがとうございました。」

～６年生が「広島（ヒロシマ）へ修学旅行に行きました～

９月１８日(金)１９日(土)　６年生といっしょに広島(ヒロシマ)まで修学旅行に行ってきました。

１日目には、平和記念公園で体験者の方の話を聞いたり、原爆ドームやいろいろな慰霊碑・記(祈)念碑をめぐりながらガイドさんからの解説を聞いたり、資料館を見学したりしました。雨が降ったりやんだりする中予定を入れ替えながらになりましたが、班やクラスで助け合ってヒロシマについて学ぶことができました。知りたいことを確かめて、松小のみんなに伝えたいことを見つける貴重な時間を過ごしました。

２日目は宮島の世界遺産・厳島神社や水族館の見学の後、広島焼を食べてからお買い物と楽しい思い出をたくさん作りました。ご家庭でどんな土産話ができたでしょうね。これから報告会に向けて学んだことをまとめていきます。今度は自分たちが伝達者になって、どうまとめるか、どう伝えるか考えてくれています。







～実りの秋　体験学習で実りある学習も～

毎年恒例になっていますが、体力アップサポート事業を活用して、子どもたちの体育の授業に体育指導のゲストティーチャーを招いています。子どもたちの運動技能のアップとともに体力そのもの向上を図り、かつ、先生たちの指導力アップにも期待して取り入れています。（写真は５年生）



子どもたちにはおなじみの「ジーマ」先生。大人気です♪

１年生・４年生には毎年歯科衛生士のカミングハーモニーさんに歯磨き指導をしていただきました。お口の中をもごもごしながらゴシゴシ、くちゅくちゅ歯磨きのしかたを教えてもらいました。

歯医者さんにも、模型を使ってわかりやすくアドバイスしてもらいましたね。おうちでもその成果が発揮できているといいですね。（写真は１年生）



３年生にはお習字の達人の皆さんに来ていただきました。人数が多いので、ハーフサイズに分けて教わりました。おかげで、筆の持ち方から運び方をていねいにわかりやすく教えていただきました。最初は鉛筆みたいに思い通りに動かない子もいましたが、少しずつ、「はらい」や「とめ」の感覚もわかってきたようです。

この中から次世代のお習字の達人が生まれるかもしれませんよ♪





☆金木犀（きんもくせい）といえば・・・

犀（せい）という漢字の由来は、木の肌が動物の犀（さい）に似ているからだとか…。先人の観察眼というか、多様な捉え方で表現されているんだなと驚きました。